



松下賢一郎 議会レポート

発行責任者
藤沢市議会議員
松下賢一郎
TEL 0466-34-4570
matusita@tbb.t-com.ne.jp

藤沢市議会副議長として4期目の議員活動へ！



議会改革に取り組みます！

副議長としての務めは、まず第一に円滑な議会運営が図られるよう議長をサポートすることにあります。議会運営のみならず、今後は更なる議会改革に向けて議会をリードしていく立場にあると考えています。

とりわけ、今回の統一地方選において、市議会議員選挙の投票率は38.15%と過去最低を記録するなど、まさに市民から市議会は遠い存在になっていると言わざる終えません。

こうした中、現在、地方議会や地方議員の在り方に対し、さまざまな問題提起がなされています。具体的には、「行政を監視する機能を十分に果たしていない」「議員の仕事ぶりが見えにくい」「議員定数や報酬を削減すべきではないか」などの指摘です。

このような課題に対し、改めて議会の果たすべき役割などを明らかにし、市民との情報の共有化を図り、市民の意思を市政に反映させるためには、藤沢市議会としての議会基本条例を制定する事が必要だと思います。

一般的には、自治基本条例が、まちづくりのための基本的な理念や原則、役割分担、仕組みなどを定めたものであるのに対し、議会基本条例は、議会が市民の多様なニーズを把握し、的確に市政に反映するため、「市民と議会の関係」や「議会と行政の関係」等について具体的に条例として示すものです。

全国における議会基本条例の制定状況は、2006年5月18日に制定された北海道栗山町議会基本条例を

4月24日に行われた市議会議員選挙では、皆様のご支援により4期目の当選をさせて頂くことが出来ました。当選の御礼を申し上げることは公職選挙法で禁じられておりますので、ご報告に変えさせていただきます。

また、改選後初となる市議会臨時議会において、松下賢一郎は藤沢市議会第46代目の副議長に就任をいたしました。皆様のご期待にお応えできるよう懸命に務めてまいりますので、今後とも宜しくお願い申し上げます。

第1号として、その後、急速に全国に広がりつつあり、2011年3月現在で全国168議会(55町村・15道府県・98市)で制定されています。(県内では、県、川崎市、横須賀市と5町)

藤沢市議会では、これまでも議会インターネット中継や、質疑内容を分かりやすくするために一問一答方式の採用等、様々な議会改革に取り組んで来ましたが、より一層ひらかれた議会とするための努力が求められています。

自己責任、自己決定の原則に基づく文字通り、自治の一翼を担う議会は、より一層の市民参加と情報公開を進め、市民からの信頼を獲得しなければなりません。それには、確固たる理念と実効性、継続性のある議会のルールが明記された議会基本条例の制定は待ったなしの課題です。

議会基本条例の制定を目指します！

具体的には、議会が市民の中に飛び込んでいき、市政に関する情報や議会審議の経過などを報告する「議会報告会」の開催。また、市民が抱える個別具体的な懸案事項について議会で意見を述べることを希望した場合、それを保障する「請願・陳情者の意見陳述」。さらに、議案等に対して議員同士が意見を交わす「議員間の自由討議」などを柱とした「藤沢市議会基本条例」の制定に取り組んで参ります。



藤沢市の放射線量等の測定結果が公表されました

藤沢市における放射線量等の状況を把握するため、市内の東西南北エリアと市域中部の小・中学校5校(村岡中・湘洋中・中里小・長後小・大庭小)を抽出し、放射線量、土壌及びプール水の放射能濃度調査を、民間測定事業者により6月1日に実施しました。また、その他の小・中・特別支援学校50校の放射線量調査については、6月4日に市所有の簡易型測定機器により測定しました。

その結果、放射線量については、0.05～0.15(マイクロシーベルト/時)となり、すべて基準値(0.19マイクロシーベルト/時)を下回りました。また、土壌放射能についても不検出または基準値以下、プール水の放射能濃度についても不検出となり、放射線、土壌、プール水について安全性が確認されました。なお、今後も継続的に月1回程度、放射線量及びプール水放射能濃度の測定を行い、随時ホームページ等で公表していきます。

また、藤沢の農産物についても暫定規制値を下回るか不検出となっており、安全性が確認されたものが市場に流通していることが確認されました。



夏の節電対策に「エコライフ・ハンドブック」を全戸配布!

今年は東日本大震災の影響による夏の電力不足への対策として、家庭でもピーク時の電力需要を15%減らすなど、特に年間のピーク期である7、8月の昼間の電力需要を抑えることが家庭にも求められ、継続した省エネ行動やライフスタイルの見直しは、今後のエネルギー政策を考える上でも重要な視点となっています。

資源エネルギー庁の調べでは、夏の日中の消費電力のうち最大のものはエアコンで、全体の5割強にのぼり、これに冷蔵庫、テレビ、照明が続き、この四つで8割を占めています。つまり、この四つの家電の対策からスタートするのが効果的とも言えることから、家庭内のリビング、キッチン等様々な場面を設定し、温暖化防止のために誰もが家庭で、いまずぐ出来る節電対策と簡単エコライフを分かりやすく紹介した「ふじさわエコライフハンドブック

(概要版)」が、7/25号広報ふじさわと併せ全戸配布されます。

エコライフ・ハンドブックは、「温暖化問題は承知しているが、どうすればよいのか分からない」という疑問を解消し、より取り組みやすいものを市民に提供出来るよう松下賢一郎が議会で提案してきたものです。

石巻市の被災地視察・ボランティア活動に参加!

東日本大震災で、死者・行方不明者において最大の被害を受けた石巻市(6/14現在、死者3,097人行方不明者2,770人)の被災状況を視察するとともに、被災地支援ボランティア活動に参加しました。

被災状況については、本来市民を守るべき防波堤はいとも簡単に破壊され、依然として市街地や各集落は覆い尽くさんばかりのガレキの山でした。



視察後には、専修大学内に置かれた「石巻市災害ボランティアセンター」で手続きを済ませ被災地支援のボランティア活動に参加をしました。作業内容としては、河川周辺で津波被害を受けた住宅地の道路側溝のヘドロ撤去作業で、ヘドロ特有の悪臭と、水分を多く含んだヘドロの撤去には大変に苦勞をしました。

この他にも、石川県や山形県、そして神奈川県からも大型バスで参加したボランティアが大勢いて、特に目に付いたのは、若者や女性の参加者が多かったことです。日本中から支援の輪が広がる、「ささえあうニッポン」心をつなぐボランティア活動の尊さを改めて実感した視察となりました。



松下賢一郎プロフィール <http://www.k-matusita.com>

- 1958年生まれ 53才・鎌倉学園高校卒・神奈川大学卒
- 神奈川トヨタ自動車(株)に17年間勤務
- 平成11年藤沢市議会議員初当選(現4期)
- 市議会副議長(現在)・公明党県本部副幹事長

【QRコード】

松下賢一郎の情報は
モバイル(携帯)サイト
からもご覧頂けます

